



一歩踏み出す勇気～2学期を振り返って～



来週で2学期も終わり。12月24日から、子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。

今学期の授業日は77日。残暑厳しい9月から始まって、寒さ厳しい12月まで、本当にあっという間でしたが、振り返ってみると、いろいろなことが思い出されます。

9月の始業式で、私は子どもたちに、「今学期は、なりたい自分に向かって、勇気をもって一歩踏み出す…そんな自分であってほしい。」と話しました。その言葉通り、子どもたちが一歩踏み出していく場面をたくさん見ることができました。

9月は、1年生にとって初めての学校水泳がありました。水が苦手な子にとっては、水泳はかなりのプレッシャーになります。実際、最初は水を怖がって固まってしまう子もいました。しかし、決してあきらめず、少しずつ慣れていく中で、顔を水につけられるようになり、潜れるようになり、どんどん上達していきました。その姿に1年生のたくましさを感じました。

10月には、社会見学がありました。1・2年生の鳥羽水族館の遠足では、1・2年生合同の縦割りチームで行動しました。2年生は、事前にしっかりとルートをチェックし、1年生をリードして行動しました。「トイレ大丈夫?」「並ぶよ～」といった細かな心遣いもありました。そんな2年生の子どもたちの姿が頼もしく、素敵なお兄さんお姉さんになったなと感じました。

3年生は、2学期、学校から校外へと学びの場を広げました。地域のスーパーマーケット、図書館、防災設備など・・・実際に自分達亲眼で見て、話を聴き、自分達の世界を広げていきました。そんな中で、友達と話し合いながら、働く人々の思い、東大淀の人たちの地域を愛する気持ちに迫っていきました。これまでの世界から、一回り大きな世界に飛び込み、学びを深めていく姿が素敵でした。

4年生は、5年生・6年生とともに、児童会活動や委員会活動を頑張りました。9月に行われた後期児童会役員選挙でも、4年生ながら積極的に立候補する子もいました。その子と話をした時、こんなこと教えてくれました。「当選したいけど、もし当選できなかったら、後期の委員会でがんばる。そして、5年生になっても児童会に立候補してみる。卒業するまで、まだ4回もチャンスがあるから。」私は、この言葉を聞いて、胸がじんとしました。こんな前向きな気持ちを自分も見習わなきゃと思った1コマです。

5年生は、6年生からバトンを受け継ぐ時が近づいてきました。そのために、自分達の力でクラスを運営することを頑張りました。担任がいない時でも、お昼休みは自分達の力でクラス遊びを決めて、みんなで遊ぶ姿がありました。2学期末に行われるお楽しみ会でも、自分たちの力で進めながら、みんなが楽しめるゲームを考えています。きっとこの自主性は、3学期の「6年生を送る会」や「卒業式」に活かされると期待しています。

6年生の印象的な場面は、何と言っても修学旅行です。旅行中、私が子どもたちの会話に耳を傾けて感じたのは、「一人ひとりが、この修学旅行をみんなが楽しめるようなものにしようとしているな。」ということです。友達への声かけ一つ一つにそれを感じることができました。子どもたちの笑顔が弾けた修学旅行を経て、6年生の団結が一つ強くなった気がしました。卒業まであと3か月。仲間との絆をさらに強めて、素敵な卒業式を迎えてほしいと思います。

こんな風に、2学期に「一歩踏み出す自分」をたくさん見せてくれた子どもたちの姿がとても愛おしく、私も、子どもたちのチャンレジ精神に負けないようにがんばらなきゃと気を引き締めた次第です。

きっと、3学期は、今まで以上にあっという間に過ぎ去っていくことでしょう。この子どもたちと共に過ごせる限られた時間を、一日一日大切に、来学期も歩んでいきたいと思っています。

来週からの冬休みは、子どもたちにとって、家族の一員として、地域の一員として過ごすことが多くなると思いますが、自分で計画をたて、充実した日々を送ってほしいと思います。健康と事故には気をつけ、楽しいお休みにしてほしいです。保護者の皆様には、御多忙の中、たくさんのご理解とご協力をありがとうございました。3学期に入りましても、よろしくお願い致します。